

日蓮大聖人御書全集

ひょうえのさかんどのものにようぼうごへんじ

兵衛志殿女房御返事

みこ

こと

(御子どももの事)

ひょうえのさかんどのものにようぼうごへんじ みこ こと

兵衛志殿女房御返事（御子どももの事）

こうあん ねん がつ にち さい いけがみむねなが つま

弘安 2 年 ('79) 11 月 25 日 58 歳 池上宗長の妻

ひょうえのさかんどのものにようぼう きぬかたうらた そうら お みこころ

兵衛志殿女房、絹片裏給び候い了わんぬ。この御心

ほけきよう ごほうぜん もう あ そうらう

は法華経の御宝前に申し上げて候。

真 覚 そうら ごほう もう そうらう

まこととはおぼえ候わねども、この御房たちの申し候

みこ おお 世 間

は「御子どもは多し。よにせけんかつがつとおわする」と申

そうらう 歎 そうら 思

し候こそなげかしく候えども、「さりとも」とおぼしめ

そうら きようきようきんげん

し候え。恐々謹言。

じゆういちがつにじゆうごにち にちれん かおう

十一月二十五日 日蓮 花押

ひょうえのさかんののにようぼうごへんじ
兵衛志殿女房御返事